

都立高校入試への英語スピーキングテストの導入に 関する課題解決の為の積極的な議論を求める意見書

東京都教育委員会は、2022年11月27日に、試験前から保護者や大学教授などから多くの問題点が指摘されてきた「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)」を実施した。

受験した中学校3年生268名、またその保護者155名などが回答した緊急アンケートでは、「イヤーマフ(防音器具)越しに他の受験者の解答音声が聞こえた」、「前半組と後半組の情報遮断不全」、「録音確認の際に周りの人の声が録音されていた」といった報告がされた。入試制度として担保されるべき「公平性」を破壊し、都立高校入試として担保されるべき「透明性」も無い試験であったと考える。この問題を放置すれば、今後、日本全国の中学生・保護者・教育関係者に多大な影響を与えることは確実で、これまで積み上げてきた公立高校入試制度への信頼を崩壊させかねないと考える。

よって、町田市議会は、東京都及び東京都教育委員会に対して、都立高校入試への英語スピーキングテストの導入に関する課題解決のための積極的な議論を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。